

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	保育相談支援	
科目基礎情報					
開設学科	こども学科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	15時間
単位数	1単位	授業形態	演習		
教科書/教材	毎回、レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	仁科伍浩	実務経験の有無・職種	有・小学校教諭		
学習目的					
<p>保育士の専門性を生かした保護者支援である保育相談支援とは何かについて理解することが目的となる。保護者支援について、内容・方法・技術を具体的に理解し、計画・記録・評価・カンファレンスの実際を知ること、保育士の専門性を生かせる場は保育所にとどまらないため保育相談支援は基本は同じであるが、他施設での保育相談支援についても理解を深めることがねらいとしてある。また、保護者への支援は近年重要視され、平成29年度に改定された保育所保育指針にも子育て支援の意義や保育士の役割が記載されている。保育所等では、子ども自身に特別な配慮が必要な場合だけでなく、保護者自身あるいは子どもを取り巻く家庭に特別な配慮が必要な場合もあるため情報を整理、把握し、支援の方法を習得する。</p>					
到達目標					
<p>保育相談支援の意義と原則について説明できる。 保育所やその他の児童福祉施設における保護者支援の実際について述べることができる。 保育相談支援の実際を学び、グループワークに積極的に参加できる。 保育士の専門的な知識・技能を活用し事例を基に記録・評価シート等の記入を行う。</p>					
教育方法等					
授業概要	<p>保護者への相談支援は保育士としての責務であるため保護者支援の意義と原則を学び事例を通して保護者支援についての内容・方法・技術を学んでいく。保育士として活躍できる施設を想定し、児童福祉施設全般の保護者支援について学び、特別な配慮が必要な子ども・保護者・家庭があることを知り、現状を把握する力、ニーズの把握や配慮事項、支援方法を学んでいく。</p>				
注意点	<p>事例やワークに関する課題が場合は自分の意見をしっかりと書くと共に他の学生の意見もしっかりと書き留める。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業中の私語や携帯電話の使用は厳しく指導する。課題が出た場合は締切日時を守る。期限が過ぎた提出物については受け取らない。</p>				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	40%	提出された課題をもとに評価		
	小テスト	30%	授業内で3回実施		
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	30%	積極的な授業参加・授業態度によって評価		
授業計画（1回～8回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	保護者支援の意義と意味	保護者支援の必要性を理解できる			
2回	支援のニーズをとらえる	保護者や家庭のかかえる支援のニーズへの気付きと多面的な理解をする			
3回	子ども・保護者の状況と状態の把握	事例に基づいてアセスメントの理解を深める			
4回	支援の計画と環境の構成	事例をもとに保育所を利用する保護者お支援計画をたてる			
5回	支援の実践・記録・評価・カンファレンス	保育士の専門的な知識・技術を活用した支援の実際について理解することができる			
6回	職員間の連携・協働	職員間の連携・協働の必要性を知り説明できる			
7回	保育所等における支援	子育て支援の内容を知り説明できる			
8回	特別に配慮が必要な時	特別な配慮が必要な子ども・保護者・家庭に対しての相談支援について理解をする			
9回					
10回					
11回					
12回					
13回					
14回					
15回					